

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅲ-3-(3)	
政策体系	施策名	スポーツによる地域の元気づくり	所管部局名	企画振興部		
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	企画振興部		
				長期総合計画頁	147	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	国際スポーツ大会等の誘致	スポーツ文化の定着と スポーツツーリズムの推進	ラグビーワールドカップ2019の レガシー継承

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)															
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125											
i	合宿等受入人数(人)	①②③	H30	60,386	72,000	28,003	38.9%	90,000	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td><td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>															

【Ⅲ. 指標による評価】

	評価	理 由 等	平均評価
i	著しく 不十分	昨年度の合宿誘致実績を継続させたラグビーのトップチームや青山学院大学陸上競技部の合宿に加えて、ラグビー日本代表チームの合宿を実施するに至ったが、予定していた明治大学や東海大学の合宿が中止になるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を達成することができなかった。	著しく 不十分

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・オリンピック・パラリンピック事前キャンプを大分県、大分市、日田市で受入し、8か国から10競技、214名が参加した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、受け入れマニュアルを作成し、感染防止を徹底した。
②	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、県内プロスポーツが学校等への訪問交流を実施することで、コロナ禍においてもスポーツチームとファンとの交流機会やスポーツチームの情報発信の場を創出することができた。 ・タグラグビー教室の実施では、「子どもたちが協力して活動することができた」等の感想が寄せられ、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
③	・ラグビー日本代表戦の開催により、世界トップレベルの試合を県民の方々に提供することができた。また、日本代表や国内トップチームの合宿に併せて、県高校生やラグビースクールとの交流イベントを実施し、ラグビー振興につながった。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	国際スポーツ大会誘致推進事業	110.0	356
②	スポーツによる地域の元気づくり事業	105.3	356
	スポーツによる大分魅力創生事業	38.9	357
③	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	77.0	357

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.10)</p> <p>・ラグビーについて1年半ぶりの合宿で日本代表選手が集まり、大分が選ばれている。選手からは大分に來られて良かったとの声もいただいている。</p> <p>・他県でもキャンプ誘致の動きがあるが、次にまた大分県に來ていただけるよう取り組んでいきたい。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・協定を締結した県内市町村や競技団体と連携し、コロナ禍においてもスポーツ合宿が実施できるよう受け入れ体制を整備する。 ・より多くの県民がスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチーム等による小学校や総合型地域スポーツクラブへの訪問交流や、大分駅構内のデジタルサイネージを活用したプロスポーツチームの魅力を発信する。 ・ラグビーワールドカップ2019大分開催の成果を一過性のものとせず、着実に引き継いでいくことが必要であり、先端技術を活用したラグビー体験会やラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成、海外誘客(インバウンド)の多角化、海外との継続的な交流を推進する。 ・R5のツールド・九州開催に向けて、開催地となる日田を中心にイベント等を通じて機運醸成を図る。